

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は2019年日本陸上競技連盟規則によって実施する。

2. 練習場及び練習について

(1)練習は、下記のように本競技場を使用してよい。

8月9日 9:00~17:00

トラック：1~2レーン：周回練習

3~6レーン：スタート練習・リレー練習（バックストレート）

7レーン：女子100mH、400mH

8レーン：男子110mH、400mH

フィールド：走幅跳、三段跳：本部棟側ピット

三段跳（男）9:00~10:50 13:00~14:50（女）11:00~12:50 15:00~16:50

走高跳：第1、2コーナー付近 棒高跳：バックストレート側ピット

跳躍の練習時間は9:00~17:00とするが、棒高跳は16:00までとする。

投擲は次のとおりとする。

網走市運動公園陸上競技場（砲丸投のみ）

投擲練習場（呼人スポーツトレーニングフィールド内）：13:00~17:00

8月10日 7:00~8:30（当日実施の種目のみ）※ハンマー投については禁止とする。

投擲練習場（呼人）については9:00~17:00まで使用可能

8月11日 7:00~8:00（当日実施の種目のみ）

投擲練習場（呼人）は使用できない。

(2)投てきの練習は事故防止上、必ず監督、チームが立ち会いのもとで練習すること。

3. 競技者の招集について

(1)招集所は会場図を参照すること。

(2)各種目の招集開始時刻・完了時刻は、すべてその競技開始時刻を基準とし、下記の要領で行う。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	25分前	15分前
フィールド競技	40分前	30分前
棒 高 跳	70分前	60分前

※棒高跳は1時間前現地点呼

(3)招集完了時刻までにナンバーカードの確認を受け、競技者係の誘導により競技場に入ること。

(4)棒高跳に出場する競技者は、競技開始時刻1時間前までに現地に集合のうえ点呼を受け準備を行うこと。

(5)他の種目とほぼ同時時刻に兼ねて出場する競技者は、予め2種目同時出場届を提出し、その旨を必ず競技者係に申し出ること。（トラック競技を優先とする）

(6)招集時刻に遅れると、当該種目を棄権したものととして処理するので注意すること。

(7)当該競技を棄権する場合は、招集開始時刻前までに競技者係に申し出ること。

(8)混成競技者は、第1日、第2日の最初の種目のみ競技者係で点呼を受け、以後は混成係の指示を受ける。

4. ナンバーカードについて

(1)全ての競技者はユニホームの胸、背に主催者が交付したものを使用し、確実に付けること。跳躍競技に出場する競技者は、胸又は背のどちらかに付けるだけで良い。

(2)トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバーカード（点呼の際、競技者係より配布）を右腰やや後方に付けること。フィニッシュ後に自分で外し、係の者に返却すること。

(3)長距離種目（5000m以上）は胸と背にレーンナンバーカードをつける。ナンバーカードは競技者係で配布する。

5. A、B決勝の振り分け及びレーン順、競技順について

(1)トラック競技予選レーン順、フィールド競技試技順はプログラム記載の順による。

(2)決勝の組み合わせ及びレーン順は番組編成係で抽選をし、その結果を招集所に提示する。

(3)A、B決勝の振り分けについては、予選通過者を166条3(b)に基づいて順位づけし、上位8名をA、下位8名をBとする。

6. 競技について

(1)トラック競技において不正スタートした競技者は1回で失格とする。

また、競技規則162条5(a)(b)(c)を行った場合、審判長がイエローカードを示し警告を与える場合がある。同一競技で2枚のイエローカードを受けた競技者は、当該競技を失格とするが、それ以後の種目の出場は妨げない。

(2)長距離競走において1レースの競技者が多数の場合は、グループスタートで行う。

(3)短距離競走のフィニッシュ後は、競技者の安全のため自分に割り当てられたレーン（曲走路）に沿って走り終

えること。

- (4) タイムレース決勝については、申込記録により上位・下位に分け、組み分けを行う。
- (5) 競技場内での助力は禁止とする。指定されたエリアのみで行うことができるが、競技運営や他の競技者の競技の妨げにならないよう注意すること。また、競技者に映像機器を見せることができるが、競技者に手渡ししてはいけない。ミュージックプレーヤー・携帯電話の通信機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- (6)トラックレースにおいて、予選の棄権者により出場者が8名以内の場合は、予選を止め、決勝の時間に行う。
- (7)リレーのオーダー用紙については次の通りとする。
 - ①リレーのオーダー用紙は、招集所に用意する。
 - ②オーダー用紙は、招集完了時刻1時間前までに招集所に提出すること。
- (8)走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	
走高跳男子	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	以後は3cmあがり		
走高跳女子	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	以後は3cmあがり		
棒高跳男子	3m30	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	以後は10cmあがり		
棒高跳女子	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	以後は10cmあがり		
混成走高跳男子	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	以後は3cmあがり	
混成走高跳女子	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	以後は3cmあがり		
混成棒高跳男子	2m60	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	以後は10cmあがり

①第1位決定の上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳5cmとする。

②天候その他の特殊条件によって変更する場合は、当該審判長が決定する。

- (9) 男4×400mRは、開催要項において1日目に予選と記載しているが、本大会は2日目にタイムレース決勝として行う。男・女4×100mRの参加チームが8チーム以下の場合は、1日目の決勝時に決勝を行う。
- (10) 男女の競歩競技においては制限時間を設ける。男子62分、女子72分以内に9600mを通過できなかった者は、競技を中止させ、失格とする。

7. 競技場への入退場について

- (1) 競技場の入退場は全て、競技役員の誘導により行う。競技者以外は、競技場に立ち入ることはできない。
- (2) 競技終了後におけるトラック競技者は、本部棟前は通らない。
- (3) フィールド競技における競技者は、当該審判員、マーシャルの指示に従い退場する。

8. 競技用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳のポールは個人所有のものを使用する。ポールについては、競技開始前に跳躍場で跳躍審判員の検査を受け許可されたものが使用できる。ただし、やりは検定を受けて合格したものを使用できる。検定は大会期間中8:00~8:30の間に用器具庫で実施する。その際、「やり検定申請書」とやりを持参する。検定合格したやりは、「預かり証」を発行のうえ一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。借り上げたやりは、用器具庫で投擲審判員が返却する。
- (2) フィールド競技で、助走に使用するマーカーは、主催者が用意する。使用し終わったら、競技者自身で取り外し、所定の場所に返納する。

9. 競技用スパイクシューズについて

競技場は、全天候型であり、スパイクピンの数は11本以内で長さは9mm以内、走高跳とやり投では12mm以内とする。

10. 表彰について

各競技8位までの入賞者は賞状を授与する。表彰は3位までとし、当該競技終了後、係の指示に従い表彰待機所で待機すること。なお、4~8位賞状は、本部棟1階に賞状置き場を設けるので取りにくること。

尚、A、B決勝がある種目については、A決勝出場者のみを表彰対象とする。

11. 選手権者は北海道陸上競技協会登録者でないと、日本選手権には出場できない。

12. テントの設営場所について

テントを張る場所は、次に従い、各自責任を持って取り扱うこと。

- ・大会前日(8/9)からの設置を認める。
- ・大会期間中は設置したままで良いが、各校・各自の管理責任とする。主催者では一切の責任は負わない。
- ・本部棟横芝生(ホームストレート側)及び100mスタート後方の芝生と競技場外には設置できない。

13. 応急処置について

医務室に医務員を配置し、応急処置までの用意はある。

14. ごみ処理の協力について

ごみは全て持ち帰りになります。